

1.PHS カードユーティリティ

インストール用 CAB ファイルを DT-5200 にコピーし展開することにより、PHS カードユーティリティが、本体にインストールされます。

2.機能

以下の機能が利用可能になります。

- ・ PHS 電波状態表示ツール（電波強度を 6 段階+圏外で表示）
- ・ PHS 情報表示ツール（PHS カードのシリアル番号及び電話番号を表示）

2-1.PHS 電波状態表示ツール

◆使用方法

1. 「スタート->プログラム->ユーティリティ->PHS カード電波状態表示」をタップすることで起動出来ます
2. 本アプリケーションを終了するには、右上の”X”ボタンをタップしてください。
3. アプリケーションを起動すると、PHS カードより電波強度を”AT#Q5”コマンドにより取得し、表示を行います。電波強度は、「圏外」および電波レベル 1～6 までの 7 段階で表示します。電波レベルは、画面上のバーの本数で表します。
4. アプリケーション起動中は、1.2 秒ごと(間隔固定)に電波強度を更新して表示します。
5. 起動時にカードが安定するのを待つため、シリアルポートのオープンをしてから、約 4.8 秒の間、電波強度の取得は行いません。この間は、「電波状態取得中」を表示します。
6. 待ち受けモードにより、表示を下記のように変更します。

■ 待ち受けモード0(公衆モード)

公衆モードの電波強度を取得→表示する。
チャンネル確立時には、「公衆」を表示する。

■ 待ち受けモード2(家庭モード(自営3版))

家庭モード(自営3版)の電波強度を取得→表示する。
チャンネル確立時には、「家庭」を表示する。

■ 待ち受けモード3/4(トランシーバモード)

公衆・家庭の表示は行わない。電波強度の取得は行わず、「トランシーバ」を表示する。

■ 待ち受けモードA(公衆/家庭(自営3版)デュアルトラッキングモード)

公衆モードの電界強度を取得→チャンネル確立時には、電波強度および「公衆」を表示する。
公衆モードが圏外の場合には、家庭モード(自営3版)の電波強度を取得→表示する。チャンネル確立時には、「家庭」を表示する。

7. 本アプリケーションは、その他のアプリケーションを起動した場合でも、常に手前に表示された状態で動作します。
8. PHS 通信中に本アプリを起動した場合など、電波強度の取得に失敗した場合には、アンテナマークの代わりに、「取得できません」という文字列を表示します。その場合、1.2 秒ごとに電波強度の再取得を行い、正常に取得できた時には、電波強度の表示を行います。
9. アプリケーション起動時から、電波強度・圏外が確定するまでは、「電波状態取得中」という文字列を表示します。
10. アプリケーション起動中は、PHS カードの COM ポートを開いた状態になるため、PHS カードによる通信は行えません。PHS カードの通信を行うには、本アプリケーションを終了してから行ってください。

2-2.PHS 情報表示ツール

◆使用方法

- 1 「スタート->プログラム->ユーティリティ->PHS カード情報表示」をタップすることで起動出来ます。
- 2 本アプリケーションを終了するには、右上の”×”ボタンをタップしてください。
- 3 本アプリケーションは以下の情報を表示します。それぞれの情報の取得には、右に示した AT コマンドを使用します。

PSID	AT@Y
電話番号	ATI6
メーカー名	ATI3
製品名	ATI4
ファームウェアバージョン	ATI5

- 4 通信中など、カード情報の取得に失敗したときには、「取得できませんでした」と表示されます。
- 5 PSID もしくは電話番号が、入っていないカードの場合には、「-----」と表示します。